

群馬県作業療法士会 令和6年度第1回理事会 議事録

日 時：2024年5月29日（水）19:00～21:00 会場：Zoom 使用でのリモート会議参加者：新井、石森、今村、小此木、勝野、木村、高坂、小林、柴田、関根、高橋、都丸、長谷川、山口、山浦、吉岡、李、以上
17名（50音順に表記）

I. 各部議事

1. 新井会長

1) 日本作業療法士協会総会

5月25日日本作業療法士協会総会に参加した。
村田和香先生が特別表彰を受賞された。
協会員=士会員については、2027年開始予定である。新コンピューターシステム導入に遅延があり、委託会社より今後の方針について説明があった。
日本作業療法士協会の基本理念が紹介された。
日本作業療法士協会役員選出に候補者クオーター制度が導入される。

2) 介護保険における福祉用具の選定の判断基準の見直し 平成16年より見直しされていなかった福祉用具の選定の判断基準の見直しが行われた。

今後福祉用具委員会が中心となって介護支援専門員協会への研修会などを企画してほしい。

2. 福祉用具委員会 [担当：柴田副会長・石森理事]

1) 報告事項

① 福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況

令和6年5月27日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は48件、相談件数は2件。生活行為工夫情報事業は1件であった。今後メールなどを用いて周知する予定。

② 福祉用具関連の研修依頼への対応について

令和6年3月22日伊勢崎地域リハビリテーション広域支援センターにおいて、福祉用具に関する研修会を実施した。

講師は美原記念病院 石森卓矢。

2) 審議事項：なし

3. 地域局 [担当：柴田副会長・今村理事・小此木理事・山浦理]

1) 報告事項

① 北中毛ブロック支部（小此木理事）

- 昭和村包括支援センターの担当者との顔合わせを実施。
- 主任者会議は7～8月を予定し、議題は次年度学会依頼、作業療法推進部（配置事業）についてとする。

・次年度学会長は前橋医療の小林芳行先生、会場は前橋医療福祉専門学校を予定。

実行委員長と事務局長については打診中。

② 西毛ブロック支部（山浦理事）

- 医療介護フェスティバルは地域包括ケアフェスティバル

（仮）に変更予定。

会場は未定であり、今年度から対面で実施予定。

作業療法士会としても積極的に協力していく予定でいる。

③ 東毛ブロック支部（今村理事）・5月1日桐生市広域支援センターリハネットワーク顔合わせに参加。

- 第2回学会実行委員会を5.23に開催した。

④ 全体

- 地域作業療法推進部と合同会議を行った。
- 昨年度実施したOT協会からの地域支援事業等への参画の実態調査についての追加アンケートの依頼があった。【医療から地域（在宅）への取り組み促進事業】【、短期集中型サービスの参加促進事業】OT協会が「事例集作成をしたい」とのこと。地域局として依頼する形として、リストアップされている先生にまずはアンケートの回答を依頼する予定。

2) 審議事項：なし

4. 教育部 [担当：勝野理事・今村理事]

1) 活動状況会議：ブロック長会議 メールで随時審議を実施。

5/22にzoomにてリモート会議実施。

2) 報告事項

① 令和5年度 現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修

（実施済の報告）

- 現職者共通研修「作業療法障害教育概論」

日時：2024/7/8 講師：松本OTR（沼田脳外）

- 現職者共通研修「精神障害領域」

日時：未定

講師：米原OTR（上之原）、鈴木OTR（群馬医療）、滝沢OTR（群大病院）、大嶋OTR（ふくる）

- 基礎ポイント研修「3Dプリンター×ハンドスプリントの可能性」

日時：2024/8/7

講師：近藤OTR（群馬パース）、射場OTR（鳥取医大）

② 令和6年度 新人症例発表会

日時：令和6年7月21日

会場：群馬医療福祉大学での対面開催を予定

統括：吉田OTR（群馬整肢療護園）

発表者：37名（査読希望者0名）

参加者：士会員、学生への案内を開始した。

③その他

- ・2024年度名簿について

　　柏川グループ長が作成し、5月中に事務局へ送信予定。

- ・教育部備品について

　　第一病院が教育部から退部するため、第一病院に保管してあった備品の保管場所の変更を検討する。

　　→ 現教育部員に各所属施設で備品が保管できる場所があるか確認を依頼する。

2) 審議事項：なし

5. 地域作業療法推進部

[担当：高坂理事・山浦理事・吉岡理事]

1) 報告事項

①地域包括ケア推進グループ（山口グループ長）

- ・令和6年4月12日付で令和6年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金が採択された。・4月17日地域包括ケア推進グループ定例会議を開催し、今年度の研修企画及び人材派遣に関する検討を行った。
- ・4月23日地域局と合同会議を開催し、真塩部長、高坂理事、山浦理事、山口、笹谷が参加した。
- ・第3回地域支援事業会議資料に基づき、群馬県士会版のニュースレターを作成しHPに掲載していただいた。
- ・今年度より新たに4名の部員が加入した。

②認知症支援推進グループ（笹谷グループ長）

- ・令和6年3月17日付で「令和6年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金」に係る協議書の提出を行った。・令和6年4月16日に県地域福祉課より事業の採択通知を頂いた。
- ・令和6年4月22日付で「群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金」に係る資料の提出を行った。
- ・新たに2名の部員が加入した。退部者は5名であった。
- ・4月8日に第1回目認知症グループ会議を開催した。
- ・5月10日に第2回目認知症グループ会議を開催した。（研修企画の考案）
- ・4月28日の「認知症の人と家族の会のつどい」に部員の笹谷と野村が参加した。

③精神科領域推進グループ（米原グループ長）

- ・5月12日 精神保健福祉協会定期総会へ担当理事高坂が出席した。
- ・4月27日精神科作業療法の実践に関する意見交換会に高坂、加藤、滝沢、米原が参加した。
- ・4月30日に第1回精神科領域グループ会議を開催し、今年度の活動内容について検討した。
- ・今年度よりグループ長が米原浩貴氏(上之原病院)に変更となった。
- ・新たに4名の部員が加入した。
- ・現職者選択研修の講師依頼があり、当グループより4名選出した。

④発達支援推進グループ（六本木グループ長）

- ・4月18日 第1回全体会議を開催した。

・グループ長が小田俊一氏（公立藤岡総合病院）に変更となった。その他の係等についても確認した。年間計画について検討した。

・新たに4名の部員が加入した。退部者は5名であった。・学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会－実践編－について下記の計画案を確認、計画を進めていく事を確認した。

日程：2024年11月2日（土）・3日（日）2日間開催 対面式

会場：群馬パース大学（予定）

講師：酒井 康年氏、本間 嗣崇氏、吉岡 和哉氏（予定）・4月26日（金）群馬県教育委員会特別支援教育課へ吉岡理事、小田グループ長、六本木前グループ長の3名で訪問した。特別支援教育課 課長近藤氏、補佐（指導係長）藤生氏、指導主事矢島氏に挨拶を行い、グループ長交替、群馬県特別支援学校機能強化（外部専門家派遣）事業についての意見交換等を行った。

・6月5日第1回定期勉強会「外部専門家派遣事業について」を実施予定である。

2) 審議事項

①精神科領域推進グループ

- ・精神科G SNS(X、Instagram)アカウント開設について

（別添資料）

審議結果：精神科G SNS(X、Instagram)アカウント開設について承認された。

6. 養成校連絡協議会 [担当：小林理事・高坂理事]

1) 報告事項

- ①5月8日第1回会議を開催した。
- ②今年度の臨床実習指導者講習会は9月28日（土）～29日（日）を予定している。

2) 審議事項：なし

7. 広報部 [担当：都丸理事]

1) 報告事項

①公益事業グループ（グループ長：中澤）

・5月に広報部会をオンラインにて開催予定、今年度の高校生や小中学生といった若年層へ向けた広報活動についての意見交換を行う。他県士会の取についての意見交換を行う。他県士会の取り組みについても情報収集を行い、参考にしていく。他団体のイベント開催等があれば参加を検討する。

②ニュース編集グループ（グループ長：反町）

・4月号の発行が終了し、次回7月号の発行準備中。掲載記事等ある場合には、7月5日頃までにデータの送付をお願いします。

- ・次回 7 月号より、本格的にグループ長が変更となり作業を進めていく。データの送付先が変更になっているので注意していただきたい。
- 送付先：介護老人保健施設うららく 大脇ニュース編集 G 長 daxiezongya@gmail.com
- ③広報企画グループ（グループ長：金子）
- ・公益事業 G と合同で活動実施。各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。
- 2) 審議事項
- ①ぐんま健康協会フェスティバルについて
- 日本健康文化協会主催の 7/21 に開催されるぐんま健康フェスティバルにブース出展したい。参加料は 25,000 円である。
- ぐんま健康フェスティバルに参加して良いか審議したい。
- 審議結果：ぐんま健康フェスティバルに参加することが承認された。

8. 福利厚生部 [担当：小此木理事、勝野理事]

- 1) 報告事項
- ①優秀学生賞について各養成校と連携し、各養成校卒業式に合わせて執り行わわれている。
- ②オリエンテーションについて
- 県学会にて、県士会への入会に向けたスライドショーシについて、各部のデータを踏まえて、再度修正した。各部のデータを含め確認していただき、スライドの完成としたい。
- 2) 審議事項：なし

9. 学術部 [担当：李理事・吉岡理事]

- 1) 報告事項
- これまでご尽力いただいた野口直人 旧グループ長（群馬大学大学院保健学研究科）から、秋山稜登 新グループ長（群馬大学大学院保健学研究科）に変更となる。
- ①学術研究グループ（近藤グループ長）
- ・4 月 23 日に学術部研究グループの勉強会を実施した。・全国 OT 学会（高松）、群馬県作業療法学会への抄録登録に向けた月一回の勉強会を 7 月から実施する予定である。
- ②学会支援グループ（野口直人グループ長）
- ・第 26 回群馬県作業療法学会の運営支援を行った。
- ③機関誌編集グループ（糸井陽祐グループ長）
- ・2024 年度の機関誌への投稿 3 編あり。査読業務開始している。
- 2) 審議事項：なし

10. 運転と作業療法特設委員会 [担当：李理事]

1) 報告事項

2024 年 6 月 29 日（土）に zoom でぐんま自動車運転リハビリテーション研究会と合同で世話人会を開催する予定。

2) 審議事項：なし

11. 事務局 [担当：長谷川事務局長・石森副事務局長]

1) 報告事項

①総会関係について

日時：2024 年 6 月 23 日（日） 10:00～

会場：群馬大学医学部保健学科 中央棟 3F 4 番教室

【提案】来年度総会日程について議案書に決算書を入れる時期の関係で、次年度より 6 月最終週の日曜日に開催する方向性としていきたい。今後検討する

2) 審議事項

①交通費規定の改定について

前回理事会でご提示した行動交通費 400 円の基本支給の撤廃について

※理由：日当に関する規定を新設したことにより、費用の二重支払いになるため

新旧対照表

新
(3) 交通費として自家用自動車の移動については、 <u>1 キロに付き 10 円を支給する。</u>
(4) 公共交通機関の利用を行う場合は、 <u>実質の全額</u> を支給する。
旧
(3) 交通費として自家用自動車の移動については、距離 0～10 キロに付き一回 400 円、距離 10 キロ以上は 1 キロに付き 10 円を支給する。
(4) 公共交通機関の利用を行う場合は、400 円を加えた実質の全額を支給する。

審議結果：交通費規定の改定が承認された。

3) 県士会ニュース記事に関する事務局からの投稿について県士会の活動に関する記事を定期的に配信していく。県士会活動に対する理解や協力を求めるための媒体として活用していく。

12. 災害対応委員会 [担当：関根副会長]

1) 報告事項

9 月県学会で令和 6 年能登半島地震の支援についてパネル展示を予定。報告者は JRAT 支援を行った 4 名、JRAT ロジスティックスで参加した 2 名、DMAT で参加した 1 名を予定している

2) 審議事項：なし

II. その他

1. デジタルアクセシビリティアドバイザーについて（関根副会長）

日本作業療法士協会総会にて、デジタルアクセシビリティアドバイザー（ICT 機器などのデジタル機器を障害のある人や高齢者に対して、その困りに合わせて適切にコーディネートし、その利活用をサポートできる知識と技術を認定された人材）として作業療法士が活躍することが報告されていた。

2. 群馬県建築士会の懇親会

5/31 に開催される群馬県建築士会の懇親会に高坂理事が参加予定。

3. 財務について（高橋理事）

今後、高額商品を購入する際は、長谷川事務局長もしくは高橋理事に相談いただければ、クレジットカードの使用を検討できる。

次回総会の際に、可能な範囲手渡しで令和5年度の行動交通費を渡したい。今後行動交通費支払者のリストを送付するので、手渡しで渡せる方に関しては、行動交通費を引き取っていただきたい。

4. 次回理事会

7月23日（水） 19:00～

Zoomにて実施予定とする